

第25回小出記念日本語教育研究会

日時：2016年7月2日(土) 11:30~16:40

会場：国際基督教大学

参加費：会員 無料 ・ 非会員 2,000円 (当日入会可)
事前申込は不要・会場内に「子ども用フリースペース」あり

◆◆◆ 講演 ◆◆◆

教えるのをやめる

—言語学習アドバイジングというもう一つの方法—

【講師】 青木直子氏 (大阪大学 大学院文学研究科 教授)

【研究委員より企画趣旨のご説明】

学習者が「自律的に外国語(日本語)を学ぶ」ための支援は教師の大きな役割であると考えます。しかし、具体的にどのように教師がかかわるかについては、教師自身の学習経験をもとにしていたり、「学習者任せ」に陥ったりしていないでしょうか。

2016年度は「学習者オートノミー」の理論的背景にもとづく「言語学習アドバイジング」という観点から、青木直子氏にご講演いただきます。学習者が主体的・自律的に学びを進めていくために、教師は具体的にどのような役割を担い、どのような働きかけを行うことができるかについて、ご講演を通して考えなおしたいと思います。みなさま、ぜひご参加ください。

◆◆◆ 会員による発表 ◆◆◆

◆ 口頭発表 ◆

グラフィック・オーガナイザーを活用した協働学習による読解授業の試み —教室活動における「主体的な読み手」とは何か—
牛窪隆太・高村めぐみ (関西学院大学)
対話に繋がるノダの解説 —聞き手の認知を読む社会認知的能力との関わり—
京野千穂 (名古屋大学 学術研究員)
人・コミュニティとつながる多読授業の試み 小島祐子 (ウィスコンシン州立大学ミルウォーキー校)

◆ ポスター発表 ◆

| | |
|--|--|
| 日本語学習者のための自己調整学習支援教材の開発 小林ひとみ (神田外語大学)・松本陽子 (元神田外語大学) | ピア・レスポンスに対する日本語教師の問題意識 —質的データから— 和田一菜 (活水女子大学)・北村優子 (宇都宮大学)・ 石川加奈子 (静岡雙葉高等学校・中学校) |
| 中国語母語話者の作文コーパスから考えるタ形の提示法 —中国語との対照を手がかりに— 夢田美有紀 (長崎大学) | 日本語教育における俳句を用いた授業の実践研究 —初級から上級まで— 鈴木祐己 (東京外国語大学 大学院修了生) |
| 初中級学習者のための自律学習への一試案 —『まるごとA2/B1』U2での総合活動としての「書く」活動から— 中尾桂子 (大妻女子大学)・加藤さやか (サラマンカ大学)・ 隈井正三 | 留学生の日本語発表能力における効果的なフィードバック教育に ついての研究 杉本あゆみ (東京国際大学) |
| 歌舞伎と日本語教育 —CLIL理論に基づいた授業の試み— 岩瀬ありさ (学校法人大原学園) | 日本語多読授業による自律学習の促進 —実践と考察— 吉村由紀 (マサチューセッツ大学)・高橋温子 (スミス大学) |
| イタリア人日本語学習者の韻律レベルでの誤用について マイオーネ・ヴィンチェンツァ (東京外国語大学 大学院生) | マイノリティの学習者が日本語教師に与えた影響 若月祥子 (弘益大学校) |

◆ ラウンドテーブル ◆

口頭発表準備における学習者の協働 —LTD話し合い学習法の導入— 阿部美恵子 (関西学院大学)

詳しいプログラム(時間および会場)はウェブサイトをご参照ください <http://koidekinen.org/>
小出記念日本語教育研究会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 小澤研究室 気付

